

JAPAN ICOMOS / INFORMATION

INTERNATIONAL COUNCIL ON MONUMENTS AND SITES
JAPANESE NATIONAL COMMITTEE 日本イコモス国内委員会



目次◆CONTENTS

はじめに 西村幸夫 01
From the President Yukio NISHIMURA

英語サマリー／内藤秋枝ユミイザベル 02
Contents of this Volume in Brief (English only) Yumi Isabelle NAITO-AKIEDA

2017年次第1回拡大理事会報告(3/18) 山田幸正 03
The Executive Board Meeting 18th March 2017 Yukimasa YAMADA

日本イコモス国内委員会研究会報告(3/18)
Report on the Japan ICOMOS Seminar (3/18)
「町並み保存制度の研究会」について 刈谷勇雅 08
Studies on the Development of Japanese Legislative Systems for the Conservation of
Historic Towns and Built Landscapes Yuga KARIYA
町並み制度成立史研究会のこれまでの活動をふりかえって 下間久美子 09
Discussion over the Activities of the Research Group for Historical Studies on the
Development of Japanese Legislative Systems for Conservation of Built Landscapes
Kumiko SHIMOTSUMA

文化遺産防災国際シンポジウム(3/18)
The International Symposium on Disaster Mitigation for Cultural Heritage
概要報告 益田兼房 10
Outline Report Kanefusa MASUDA
ブルーシールド日本国内委員会設立の重要性 栗原祐司 11
The importance of setting up the Japanese National Committee of the Blue Shield Yuji
KURIHARA

ICOMOS University Forum Workshop報告
「再建」と「オーセンシティ」に関する学際的問い直しの挑戦 岡橋純子 12
Revisiting "Authenticity" and "Reconstruction" from an Interdisciplinary Viewpoint Junko
OKAHASHI

日本イコモス国内委員会小委員会報告
第6小委員会(鞆の浦)鞆の浦で進行中の雁木復元工事 伊東 孝 14
The 6th Subcommittee (Tomo-no-ura) Takashi ITO
第13小委員会(眺望遺産及びsetting)活動報告と計画 赤坂 信 15
The 13th Subcommittee (Vista and Setting) Makoto AKASAKA

第2回mASEANa Project 国際会議(ハノイ)報告
アセアンmodern建築のバイオニアたち 村松 伸 15
Report of the 2nd mASEANa Project International Conference (Hanoi) - The Pioneers of
Modern Architecture in ASEAN Shin MURAMATSU

熊本地震文化財復旧の今 矢野和之 16
Current State of Recovery of Cultural Properties from the Kumamoto Earthquake Kazuyuki
YANO

新入会員の声 Voices from New Members 19
石野利和 北 茂紀 舟引敏明 高村功一 鳥越けい子 平井奈美 中山一郎

お知らせ Announcements
日本イコモス賞・日本イコモス奨励賞の募集について 20
Call for Candidatures to the Japan ICOMOS Awards and Japan ICOMOS Encouragement
Awards
第19回国際イコモス年次総会・国際学術シンポジウムについて 21
About the 19th General Assembly of ICOMOS and the International Scientific Symposium

事務局日誌 Diary 22

はじめに
西村幸夫



前野まさる 画

去る4月2日、広島県福山市鞆の浦において、湯浅英彦知事も出席して、現在の県事業に関する住民説明会が開かれました。2012年6月に県が理め立て架橋計画を撤回し、山側トンネルとその他の総合対策をほどこすと表明してから5年近くが経過した現時点での状況が報告されました。新聞報道によると住民説明会には170人が参加したということで、意見の不一致は依然明らかではあるものの、賛否の議論を進める場を持つことができるようになったことは2013年に持たれた湯浅知事による住民説明からの前進ではあったといえるでしょう。

日本イコモスは、鞆町内の通過交通を軽減するための抜本的な方策として山側トンネル案を提案し、現在でもその実現を強く求めています。ただし、山側トンネルが早期に実現することは望み薄であるという現状において、町内の交通問題の解消や防災対策も並行して進めていかなければならないということは、かつての鞆地区地域振興住民協議会での共通理解でもあり、原重すべきと考えています。

鞆の浦の景観の保全整備と文化財的価値の保護、そして鞆地区における安全安心のまちづくりとを両立させる途を探ることが私たちの責務だと考えています。そのための専門的知見の提供を惜しむものではありません。

● ICOMOSとは

ICOMOSは、1964年に採択された「記念物と遺産の保存に関する国際憲章（通称ヴェネツィア憲章）」を受けて1965年に設立された国際NGOです。第1回総会は1965年6月にポーランドで開かれました。ユネスコをはじめとする国際機関と密接な関係を保ちながら、文化遺産保存に関する理論、方法論、科学技術の研究・応用、またユネスコの世界遺産条約に関しては、諮問機関として、登録の審査、モニタリングの活動等を行っています。各国の文化遺産保存分野の第一線の専門家や専門団体によって構成されており、2016年3月時点で、参加国は151カ国を数え、会員は9,500人以上にのぼっています。28の国際学術委員会を通じて様々な専門分野、テーマ別の活動が行われており、文化遺産の価値の高揚のための重要な役割を果たしています。

日本イコモス国内委員会は1972年にブタペストで開かれた第3回イコモス総会で承認され、関野克博士がその委員長に指名されました。1979年に規約を採択し、イコモス本部執行委員会での承認を経て正式に発足しています。国内の文化遺産保存技術を高め、様々な情報を収集・交換し、後継者への技術的訓練を行う一方、各国の委員会やパリ本部と協力して、世界の文化遺産の保護のための国際協力活動を担っています。2017年6月現在、会員461名、維持会員16団体、団体会員3団体、学生会員2名によって構成されており、これまでに専門的な調査研究を行う19の小委員会を設置してきました。年次総会のほか、年4回の理事会、研究会などの開催や会報の発行を行っています。



JAPAN ICOMOS/INFORMATION

Vol.10, No.6 20 June 2017

日本イコモス国内委員会 委員長 西村幸夫

事務局長 矢野和之 編集 山田幸正

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5 岩波書店一ツ橋ビル 13階

株式会社 文化財保存計画協会 気付

Tel & Fax: 03-3261-5303 e-mail: jpicomos@japan-icomos.org

<http://www.japan-icomos.org/>

JAPAN-ICOMOS National Committee Secretariat

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy

Hitotsubashi 2-5-5-13F, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0003, Japan

Tel & Fax: +81-3-3261-5303 e-mail: jpicomos@japan-icomos.org

<http://www.japan-icomos.org/>